

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2013年1月23日
JAM熟練技能継承推進室

「機械検査」各地で指導

～高校生が技能検定にチャレンジ～

JAMが熟練技能継承事業を展開している埼玉・岐阜・大阪の高校で、技能検定試験受験へ向けて、高度熟練技能者による技能指導が実施された。

「機械検査」では正しい測定器の使い方はもちろん、測定する前の寸法測定部分の清掃など細心の注意を要する事項が多くあり、試料の取り扱い方法や測定をする姿勢なども含め、一人ひとりに対して丁寧に指導が行われた。

技能検定試験は6～9月に実施される前期試験と、12～2月に実施される後期試験があり、機械金属系職種では、前期に機械加工等が、後期に「機械検査」や「電気機器組立て」などの職種が実施される。

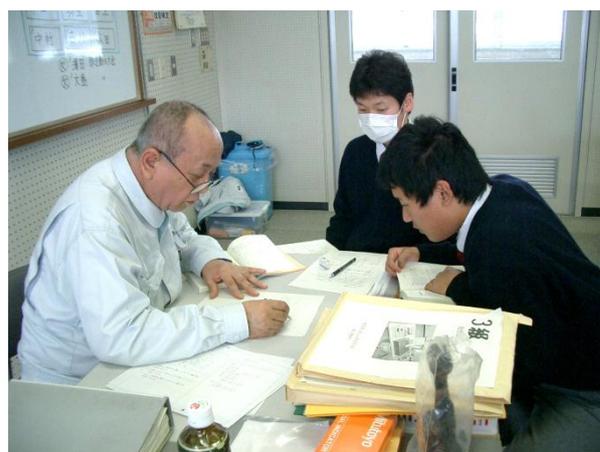
近年工業系の高校では、後期の「機械検査」職種の技能検定にチャレンジする学校が増えているが、「機械検査」は言わば“ものづくりの基本技能”であり、高校生にとって資格取得によって就職活動に有利になるだけでなく、就職後すぐに仕事に活かせる技能である。

「機械検査」の実技試験は、3級技能検定の場合、次の3つの作業で実施される。

①ノギス・マイクロメータ・シリンダーゲージによる試料の寸法測定、②三針（高精度の丸ピン）とマイクロメータによるネジの有効径測定、③ブロックゲージによるマイクロメータの器差（実寸法との差異）測定



埼玉県立狭山工業高校：高度熟練技能者 生井保氏
ノギスの目盛の読む方ときの注意点を丁寧に指導



岐阜県立高山工業高校：高度熟練技能者 宮田晴造氏
生徒の寸法測定結果について詳しく講評



大阪府立布施工科高校：高度熟練技能者 金谷憲二氏
シリンダーゲージの持ち方や目線を実際に見せて指導